

平成29年度社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会事業報告

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の基本理念である「ともに支えあうまちづくりを」実現のため、平成29年度に実施した主な事業は次のとおりです。

I 社会福祉事業

決算額（前年度決算額）

1 法人運営事業

(1) 法人運営管理

8,617千円（6,205千円）



ア 三役会（4回開催）

三役（会長、副会長及び常務理事）が理事会及び評議員会に関すること、また今後の事業執行に必要な事項等について協議、検討を行い、本会理事機能の円滑化を図った。

イ 理事会（4回開催）

第1回（平成29年6月13日）

- ・定款の改正
- ・諸規程の改正
- ・平成28年度事業報告
- ・平成28年度資金収支決算
- ・評議員候補者の推薦について
- ・評議員会の招集について

第2回（平成29年8月10日）

- ・諸規程の改正
- ・平成29年度顕彰者（表彰、感謝）の決定について



第3回（平成29年12月14日）

- ・専決処分の報告について
- ・資金収支補正予算
- ・年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金支給基準の決定について
- ・評議員会の招集について

第4回（平成30年3月22日）

- ・諸規程の改正
- ・平成30年度事業計画
- ・平成30年度資金収支予算
- ・評議員会の招集について

ウ 評議員会（3回開催）

第1回（平成29年6月29日）

- ・定款の改正
- ・平成28年度事業報告
- ・平成28年度資金収支決算
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

第2回（平成29年12月21日）

- ・専決処分の報告について
- ・資金収支補正予算

第3回（平成30年3月29日）

- ・平成30年度事業計画
- ・平成30年度資金収支予算



エ 監事会（2回開催）

第1回（平成29年6月8日）

- ・平成28年度事業報告
- ・平成28年度資金収支決算



第2回（平成29年11月22日）

- ・平成29年度上半期事業報告
- ・平成29年度資金収支上半期執行状況

オ 評議員選任・解任委員会（1回開催）

第1回（平成29年6月22日）

- ・評議員の選任について

カ 特別賛助会員の増強

特別賛助会員増強のため郵便方式のほか、会長、副会長及び職員が市内事業所を訪問し、加入者の増強を図った

- ・金額 1,137,235円（1,217,600円）
- ・件数 153件（160件）

キ 事務局通信の発行

社協事業の紹介、職員のプライベートな話題など、親しみを持ってもらえる記事を掲載した内部広報紙を発行し、役員、評議員、地区社協会長へ情報発信を図った。

- ・発行月 4月、7月、10月、平成30年1月
- ・発行部数 60部（60部）

(2) 職員管理

67,453千円（61,831千円）



地区社協をはじめ、行政、福祉団体、福祉施設等の関係機関と連携、協働を図り38の諸事業等を展開するなど、ともに支えあうまちづくりを推進するための活動を図った。

2 調査・研究事業

(1) 計画推進委員会

193 千円 (79 千円)



地域福祉活動計画推進委員会において第三次地域福祉活動計画の進行管理とともに、第四次地域福祉活動計画（平成31年度から5か年）の策定作業を行った。

また、第四次地域福祉活動計画策定にかかるヒアリング調査を通して、地域福祉活動計画の周知を図った。



第1回（平成29年8月4日）

- ・第四次地域福祉活動計画策定について

第四次地域福祉活動計画は行政の地域福祉計画との合同策定を行うことで合意された。計画の軸（フレーム）を統一させ、それぞれの委員会で計画を策定する。その後合同委員会を定期開催し、各計画案の融合を図る。

第2回（平成29年10月11日）

- ・第三次綾瀬市地域福祉活動計画上半期進捗状況について
- ・綾瀬市社協見える化計画の進捗状況について

第3回（平成30年2月28日）

- ・第四次綾瀬市地域福祉活動計画策定について

平成29年12月、行政との合同策定が困難となり、別々の計画を策定することを報告。委員からは再協議の意見や、理念共有などの意見があった。

第4回（平成30年3月27日）

- ・第三次綾瀬市地域福祉活動計画下半期進捗状況について
- ・綾瀬市社協見える化計画の進捗状況について

(2) 苦情解決委員会

0 千円 (0 千円)



市民、利用者からの苦情の適切な解決のため苦情解決調整委員会を設置し、福祉サービスの質の向上及び運営の信頼性を図った。



(3) 福祉人材確保事業

30 千円 (72 千円)



ア 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクト

高校生を対象に市内の福祉職員の協力のもと頂き、福祉の仕事に興味、関心を持ってもらうため、学校向けにプレゼンテーションを行った。



- ・ 隔月第1月曜日 プロジェクト会議
- ・ 1月23日 綾瀬高校 参加者：320名
- ・ 1月26日 生蘭高等専修学校 参加者：125名

イ あやせ Tomorrow プロジェクト

市内在住在勤の比較的若い世代を中心に、地域をキーワードとした活動を行うプロジェクトを実施。交流を目的とした「青空ミーティング」と地域の防犯活動と健康づくりを兼ねた「夜回りランニング&ウォーキング」を毎月実施した。

夜回りランニング&ウォーキング

- ・ 実施回数 10回 (雨天のため2回中止)
- ・ 延べ参加者数 109名
- ・ 6月は「ホテル観察」を行い、30名の親子が参加
- ・ 10月より、地域(コンビニ)を拠点に防犯パトロールを実施。



3 広報・啓発事業

(1) 広報紙等発行事業

2,912千円 (2,859千円) ↑

広報紙「社協あやせ」を発行し、市民への啓発の促進と福祉情報の周知を図った。

- ・ 配布方法 ポスティングによる配布
- ・ 配布先 市内全世帯、事業所、市内公共施設
構成会員、特別賛助会員
- ・ 発行月 4月、6月、10月、平成30年1月
各36,000部発行



(2) ホームページ公開事業 (http:// ayase-shakyo. or. jp/)

本会の情報をはじめ地区社協の広報など幅広く情報を発信した。

また、facebook やツイッターによりリアルタイムな情報発信を図った。

ホームページ



ツイッター



フェイスブック



(3) 福祉ふれあいまつり

567 千円 (572 千円)



福祉団体、福祉施設、地区社協、ボランティア団体の参加を得て、雨天の中屋内主体で開催し、市民の福祉への理解と、参加団体同士の相互理解、初の公民館講座ともジョイントして市民との交流を図った。

- ・開催日 平成29年10月29日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
とその周辺
- ・来場者数 約1,000名
(約1,300名)
- ・参加協力団体数 64団体 (65団体)
1社 (3社)
- ・寄託金件数 0件 (3件) ・寄託品件数 1件 (1件)



4 地域福祉推進事業

(1) 社会福祉大会 (社会福祉表彰式)

252 千円 (179 千円)



永年にわたって地域福祉推進のため活動してきた方々や多額の芳志をされた方々を対象に表彰式典を開催し、労をねぎらった。

- ・開催日 平成29年9月24日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者数 140名 (150名)
- ・被表彰 表彰12件 (19件)
感謝7件 (2件)
寄付感謝7件 (10件)
- ・地区社協活動実践発表大会 (発表地区：綾西地区、中村地区)



(2) 福祉レクリエーション大会

211 千円 (218 千円)



市内の福祉団体とその家族及び福祉施設の入所者が集いスポーツを通じて参加者相互の交流を行い、心身の健康保持を図った。

- ・開催日 平成29年11月11日
- ・参加者数 113名 (130名)
- ・学生、ボランティア等 97名 (110名)



(3) 地区社協推進事業

5,782 千円 (5,476 千円) 

地区社協活動を支援するため、活動費の助成をするとともに各地区に職員を派遣し、支援を図った。

ア 設置地区助成金

- ・助成数 14 地区 (14 地区)
- ・助成額 20 万円 / 1 地区 (20 万円 / 1 地区)

イ ふれあいいきいきサロン事業

お互いがつながりを持てる場を住民主体で作れるよう支援するため助成し、サロン事業の充実、促進を図った。

- ・助成数 14 地区 (14 地区)
- ・助成額 2 万円 / 1 地区 (2 万円 / 1 地区)



ウ 地区ボランティアセンター設置事業

- ・助成数 3 地区 (3 地区)
- ・助成額 5 万円 / 1 地区 (5 万円 / 1 地区)

エ 地区社協強化推進事業

活動拠点の運営費、地区社協交流事業の開催を支援するために助成し、推進事業の充実、促進を図った。

活動拠点

- ・深谷大上ふれあいの家
- ・落合ふれあいの家
- ・寺尾南地区社協ボランティアセンターサロンなごみ

交流事業

- ・助成数 12 地区 (12 地区)
- ・助成額 10 万円 / 1 地区
(10 万円 / 1 地区)

※中村地区社協 45,000 円

寺尾北地区社協 46,000 円



オ 地区社会福祉協議会連絡協議会（地区社協連協）

定期総会 平成29年6月9日

- ・平成28年度事業報告及び決算報告
- ・監査報告
- ・平成29年度事業計画及び予算



定例会 3の倍数月 第2金曜日 13時30分から

第1回 平成29年6月9日

- ・保健福祉プラザの概要について
- ・平成29年度綾瀬市社協の事業計画及び予算について
- ・地区社協活動功労者表彰要綱の制定について
- ・共同募金会綾瀬市支会委員の推薦について
- ・平成29年度研修会について
- ・地区別高齢者男性料理教室の実施について
- ・地域福祉計画・活動計画策定に向けたアンケート調査及びヒアリング調査の実施について
- ・生活支援体制整備事業勉強会について

第2回 平成29年9月8日

- ・障がいを知る講座について
- ・あやせ地域づくりカレッジ開催について
- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けたヒアリング調査実施について
- ・災害時あんしん袋配布事業配布状況調査について
- ・地区社協活動功労者表彰について
- ・平成29年度研修会について

第3回 平成29年12月8日

- ・平成29年度第2回障害者虐待防止講演会の開催について
- ・地区社会福祉協議会功労者表彰の決定について
- ・平成29年度地区社協対象事業の予定について
- ・災害時あんしん袋配布事業アンケートの結果について
- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けたヒアリング調査実施について

第4回 平成30年3月9日

- ・障害があっても障害がなくても共に生きる綾瀬を創る協議会（権利擁護部会）地域住民との意見交換会について
- ・平成30年度地区社協への依頼事項等について
- ・小地域福祉活動計画策定に向けたワークショップの開催について
- ・役員改選について
- ・平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ・綾瀬市地域福祉活動計画推進委員会委員の推薦について
- ・平成29年度共同募金運動「街頭募金」の結果について
- ・災害時あんしん袋年間配布スケジュールについて
- ・平成30年度各地区社協の定期総会日程について

研修会 平成29年11月6日～7日

- ・視察先 日光市社会福祉協議会（栃木県日光市）
- ・研修内容 小地域福祉活動計画について
- ・参加者 14名

地区社協功労者表彰式 平成29年12月8日

- ・被表彰者 15名

カ 地域福祉リーダー研修

- ・開催日 平成30年2月8日
- ・参加者数 26名（90名・2日間）
- ・内容 「改正個人情報保護法の理解」

キ 地区社協合同研修会

- ・開催日 平成29年6月16日
- ・参加者数 30名（9名）
- ・内容 地区社会福祉協議会活動及び綾瀬市社会福祉協議会について



ク 地区社協活動実践発表大会

- ・開催日 平成29年9月24日
- ・会場 綾瀬市オーエンス文化会館
- ・参加者数 140名（150名）
- ・発表地区 綾西地区、中村地区



ケ 地区社協総務担当者意見交換会

- ・開催日 平成30年2月27日
- ・会場 綾瀬市保健福祉プラザ
- ・参加者数 15名

コ 地区社協事業担当者意見交換会

- ・開催日 平成30年2月27日
- ・会場 綾瀬市保健福祉プラザ
- ・参加者数 16名

(4) 生活支援体制整備事業

352千円（283千円）



平成28年度より綾瀬市の委託を受け、日常生活圏域における、ささえあい井戸端会議発足に向け、さわやか福祉財団の協力を得て、取り組みを行った。

さらに、各地区のささえあい井戸端会議に職員を派遣し、支援を図った。

ア 勉強会

- ・第1回 平成29年9月9日
文化会館小ホール 141名
講師 さわやか福祉財団 長瀬純治氏
- ・第2回 平成29年9月17日
文化会館小ホール 25名
講師 綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
- ・第2回（再実施）平成29年10月19日 保健福祉プラザ 10名
講師 綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
- ・第3回 平成29年10月22日 保健福祉プラザ 16名
講師 さわやか福祉財団 長瀬純治氏



イ 地区別体験ワークショップ

- ・大上 平成30年1月27日 大上自治会館 36名
- ・落合 平成30年2月3日 落合自治会館 20名
- ・小園 平成30年2月14日 小園自治会館 22名

ウ 発足状況

- ・中村 平成29年10月10日
- ・落合 平成30年3月11日
- ・小園 平成30年3月14日
- ・大上 平成30年3月15日

エ 第一層協議体運営会議

- ・平成30年2月21日保健福祉プラザ 15名
- ・ささえあい井戸端会議の状況について
- ・生活支援体制整備事業今後の方向性について
- ・地域支援事業次年度の取り組みについて

オ (仮称) 第二層協議体意見交換会

- ・平成29年6月4日 綾瀬市役所 20名
- ・講師 さわやか福祉財団 長瀬純治氏
- ・寺尾南、上土棚、吉岡のメンバーで意見交換を行った。

カ ささえあい井戸端会議の開催

- ・寺尾南 毎月第3火曜日 午後3時
寺尾南自治会館
- ・上土棚 毎月第2月曜日 午前10時
泉正園
- ・吉岡 毎月第2木曜日 午後7時
吉岡自治会館
- ・中村 毎月第2月曜日 午後7時 中村自治会館
- ・落合 毎月第2日曜日 午前10時 落合ふれあいの家
- ・小園 毎月第3水曜日 午後7時 小園自治会館
- ・大上 毎月第3木曜日 午後6時30分 大上自治会館



5 助成事業

- (1) 地域福祉事業交付金 797 千円 (804 千円) ↓

各自治会の協力により募集した、会費（住民会費）の一部を還元し、自治会で実施する地域福祉活動の支援を図った。

- ・ 14 自治会へ交付（14 自治会）

- (2) 福祉当事者団体等事業助成金 1,850 千円 (1,656 千円) ↑

ア 福祉当事者団体助成金

高齢者や障がい者等の当事者活動を支援するために助成を行い、当事者活動の充実、促進を図った。

- ・ 6 団体へ交付（6 団体）

イ 小・中学校福祉推進事業

小、中学校への福祉啓発を支援するために助成を行い、学校教育との連携や福祉教育の充実、促進を図った。

- ・ 13 校へ交付（13 校）

- (3) 福祉ボランティアグループ事業助成金 1,170 千円 (1,226 千円) ↓

事業費の助成を行い、ボランティアグループ活動の支援を図った。

- ・ 9 グループへ交付（9 グループ）

6 援護事業

- (1) 法外緊急援護事業 30 千円 (1 千円) ↑

緊急に交通費等を必要とする行路人等へ資金を給付し、行路人の自立更生を図った。

- ・ 給付件数 1 件（4 件）
- ・ 緊急的支援件数 1 件（1 件）※罹災世帯

- (2) 交通遺児激励事業 0 千円 (0 千円) ⇨

- ・ 0 件(0 件)

7 総合相談事業

(1) 総合相談事業

48 千円 (48 千円)



ア 窓口相談

事務局職員が相談員となり、よろず悩みごと、心配ごとの解消を図った。

- ・開設回数 随時
- ・相談件数 299件 (294件)
- ・相談員数 事務局職員

イ 地域なんでも相談

- ・開設場所 深谷大上ふれあいの家
落合ふれあいの家
寺尾南地区ボランティアセンターサロンなごみ
- ・開設日 毎月1回 ※各地区共通・相談件数 3件 (2件)



ウ 福祉当事者相談

- ・開設日 随時
- ・相談件数 15件 (11件)

(2) 生活応援事業

83 千円 (18 千円)



ア 生活応援事業

生活に困窮する市民を対象に、生活再建に向けた総合的な相談と緊急性の高い世帯に対して光熱水費の支払い（現物支給）を行った。

- ・支援件数 5件

主に食べるものに困窮する世帯に対し、セカンドハーベストジャパンの協力を得て食品パッケージの送付を行った。

- ・送付延べ件数 161件

生活応援事業の財源とするため、社会福祉法人等から協賛金募集を行った。

- ・協賛数 6件
- ・協賛金額 200,000円

イ 生活応援事業運営委員会

相談支援及び生活応援事業基金運用等について、適切な事業運営を図るため、委員会を開催した。

- ・開催日 平成29年11月28日
- ・生活応援事業支援実績について
- ・生活応援事業基金及び予算について
- ・支援時課題について

8 ボランティア振興事業

(1) ボランティアセンター運営事業

2,387千円(3,390千円)



ボランティア活動における新たな組織化支援の強化を図るべく、ボランティアセンターには相談員を配置し、ボランティア相談（ボランティアをしたい、ボランティアを派遣してほしい等）の需給調整を行い、市民の福祉活動への参加促進及びニーズの対応を図った。

ア ボランティア相談

- ・相談件数 210件(191件)

イ ボランティア講座

活動に携わるために必要な知識を学び理解を深める講座を開催し、ボランティアの養成を図った。

- ・ボランティア入門講座
平成29年9月6日 7名(13名)
平成30年2月7日 5名(7名)
- ・登録ボランティア研修会
平成30年1月8日 35名(57名)

ウ ボランティアサロン

- ・アフリカに毛布を送る運動
平成29年 5月20日 28名
- ・なんでもサロン
平成29年 7月19日 17名
- ・なんでもサロン
平成29年 9月20日 13名
- ・なんでもサロン(鈴割り)



- 平成29年11月 1日 14名
- ・はじめてのスマホ教室
- 平成30年 1月17日 16名
- ・なんでもさろん
- 平成30年 3月14日 19名

エ 綾瀬市ボランティア連絡協議会（ボラ連協）

ボランティア相互の連携をはかるとともに、ボランティア活動の普及、及び充実にめざし、もって社会福祉の向上を図ることを目的とする。

定期総会 平成29年5月14日

- ・平成28年度事業報告及び決算報告
- ・監査報告
- ・平成29年事業計画及び予算

定例会 3の倍数月 第2金曜日 19時00分から

第1回 平成29年4月14日

- ・定期総会について
- ・春の交流会について

第2回 平成29年7月14日

- ・ボランティア入門講座
- ・バス研修について

第3回 平成29年10月13日

- ・クリスマス会について
- ・バス研修について

第4回 平成30年1月12日

- ・クリスマス会について
- ・定期総会について
- ・春の交流会について

交流会 平成29年6月3日

平成29年12月17日

- ・場所 綾瀬市立中央公民館
- ・参加者 286人（2回の合計人数）

研修会 平成30年2月16日

- ・施設先 児童養護施設 エリザベス・サンダース・ホーム



- ・研修内容 ボランティア精神について
- ・参加者 20名



オ 青少年体験学習

中、高校生等を対象にボランティア活動の場を提供し、福祉への理解促進を図った。

- ・参加者数 中学生 16名（24名）
高校生等 98名（70名）
- ・参加校数 中学校 5校（4校）
高校等 4校（4校）



カ 行事用機材貸出事業

福祉団体、市民活動団体等へ行事用機材の貸出しを行い、地域活動支援を図った。

- ・ポップコーン機 5件（10件）
- ・ポン菓子機 1件（1件）
- ・かき氷機 7件（14件）
- ・綿菓子機 8件（4件）

キ 福祉教室

市内小、中、高校等を対象に、学校からの依頼をもとに授業で福祉教室を開催した。

また、学校教員との連携を深めるために、福祉教育連絡会を開催した。

福祉教育連絡会

- ・平成29年8月3日 15名（17名）

福祉教室

- ・手話体験 24件（13件）
- ・車いす体験 9件（10件）
- ・点字体験 18件（17件）
- ・誘導体験 1件（4件）
- ・高齢者疑似体験 12件（9件）
- ・サウンドテーブルテニス体験 6件（5件）
- ・ボランティア講話 1件（1件）
- ・視覚障がい者講話 2件（2件）
- ・肢体不自由児者講話 3件（5件）

(2) 災害ボランティアセンター活動事業

2,159千円 (1,621千円)



ア 綾瀬市災害ボランティアセンター設置運営訓練

あやせ災害ボランティアネットワークと連携し、災害時における災害ボランティアセンターの設置について訓練を実施した。

また寺尾南地区社協の協力を得て、サテライト災害ボランティアセンターの設置訓練も実施した。

- ・実施日 平成30年3月17日
- ・参加者数 50名 (35名)



イ 綾瀬発・釜石応援プロジェクト

東日本大震災被災地である岩手県釜石市への支援を実施した。

通算18回目 延参加者数550名 (スタッフを含む)

第1期 平成29年7月21日～23日

参加者24名

第5回釜石&綾瀬夏の交流祭り・釜石の産業にふれる

第2期 平成30年2月16日～30日

参加者16名

鵜住居復興公営住宅住民交流会&市民ホール・釜石大観音見学

9 共同募金配分金事業

(1) 共同募金配分金事業

114千円 (128千円)



年末たすけあい募金の一部を年末たすけあい地域活動支援センター等助成費交付金として、レオモナ (就労継続支援B型)、ファミリー (地域活動支援センター) へ配分し、支援を図った。

- ・交付数 2ヶ所 (2ヶ所)
- ・交付額 5万円/1ヶ所 (5万円/1ヶ所)



(2) 災害時あんしん袋配布事業

449千円 (347千円)



65歳以上の高齢者のみの世帯で「地域避難行動要支援登録制度」に登録をしている方を中心に災害時あんしん袋 (水、キャラメル、笛、懐中電灯) を配布し、要支援者との顔つなぎを図った。

- ・協賛 サントリービバレッジソリューション株式会社（水の無償提供）
- ・協力 地区社協（14地区） ・配布数 1,286個（1,337個）

(3) その他 5,403千円（7,947千円） ↓

広報紙発行事業、ボランティア活動助成、福祉団体助成等に共同募金配分金を充当した。

10 あんしんセンター事業

(1) 日常生活自立支援事業 6,601千円（6,333千円） ↑

高齢者や障がい者等が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理、公共料金等の支払を代行し、日常生活の支援を図った。

ア 契約締結者数

- ・利用援助、管理サービス 42名（42名）
- ・書類等預かりサービス 12名（13名）
- ・上記両方契約 11名（12名）



イ 相談件数

- ・問合せ件数 10件（8件）
- ・契約者相談（新規含） 1,706件（1,858件）

ウ 日常生活自立支援事業契約締結審査会の開催

- ・開催回数 5回（6回）
- ・契約締結審査（新規契約、契約の更新、支援計画の変更、評価等）
平成29年度事業報告

(2) 法人後見事業 5,132千円（4,952千円） ↑

家庭裁判所の審判により、認知症高齢者や知的障がい者の後見人等として身上監護及び財産管理を行い、日常生活の支援を図った。

ア 受任件数

- ・後見 12件（10件） ・保佐 2件（2件）
- ・補助 1件（1件）

イ 法人後見審査会の開催

- ・開催回数 1回（1回）
- ・後見候補者の審査、後見ケース検討、平成29年度事業報告

ウ 綾瀬市成年後見連絡会

- ・開催回数 1回（1回）
- ・弁護士、司法書士等の士業と市民後見人単独受任に向けた取り組み及び課題について検討、情報交換を図った。



(3) 市民後見事業

1,434千円（1,116千円）



ア 市民後見サポーター

市民後見人養成講座修了者が市民後見サポーターとして活動。2名が後見活動（法人後見受任ケース）を行った。

また、30年度養成講座修了者3名が新たにサポーターとして登録した。

イ 市民後見人養成講座（実践研修）

市民後見人を養成するための「市民後見人養成講座（基礎研修）」を修了した方を対象に、地域で後見活動を行うための研修を行った。

- ・開催日 平成29年10月25日～12月13日（計8日間）
- ・講座修了者 3名

1.1 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

2,209千円（2,351千円）



生活福祉資金（福祉資金、教育支援資金、総合支援資金）等の貸付の相談や借受者（世帯）への償還指導を実施し、低所得者世帯への生活の安定を図った。

ア 福祉資金・教育支援資金

- ・相談件数 76件（160件）
- ・貸付件数 0件（1件）

イ 緊急小口資金

- ・相談件数 62件（78件）
- ・貸付件数 2件（0件）

ウ 総合支援資金

- ・相談件数 3件（10件）
- ・貸付件数 0件（0件）

エ 不動産担保型生活資金

- ・相談件数 3件（9件）
- ・貸付件数 0件（0件）

(2) 簡易小口生活資金貸付事業

546千円（465千円）



不測の事態により生活が困難になった世帯を対象に資金を貸付し、生活の安定を図った。

- ・貸付件数 16件（13件）
- ・償還件数 16件（11件）

12 基金運営事業

(1) 福祉基金運営事業

1,173千円（1,528千円）



- ・寄託金件数 37件（32件）
- ・寄託金額 1,143,949円（1,095,109円）
- ・寄託品件数 16件（11件）



(2) 各種基金運営事業

5,320千円（12,289千円）



各種基金を管理し、活動財源の確保、財政の長期にわたる健全な運営を図った。

13 サービスセンター事業

(1) サービスセンター事業

859 千円 (926 千円)



コミュニティケアワーカーを配置し、相談、助言支援等を行うとともに、高齢者や介護者を対象に講座等を開催し、生活上の課題解決を図った。

- ・男性料理教室 15名/全1回 (36名/全3回)



(2) 住民参加型生活支援事業

888 千円 (458 千円)



高齢者、障がい者等に家事援助、身体介護など住民参加型のホームヘルパーを派遣し、支援を図った。

ア 登録者数

- ・援助会員 11名 (8名)
- ・利用会員 22名 (16名)

イ 援助回数

- ・616回 (296回)

(3) 住民参加型移動支援事業

69 千円 (111 千円)



市民の参加と協力により、移動制約者（高齢者、身体障がい者等）のために自家用車などを利用し、病院等への送迎の支援を図った。

ア 登録者数

- ・援助会員 12名 (7名)
- ・利用会員 46名 (45名)

イ 運行回数

- ・704回 (761回)



(4) 移送サービス受託事業

3,801 千円 (7,272 千円)



車いす等を利用しなければ歩行が著しく困難な方々のために、リフト車を2台運行し、通院等の支援を図った。

- ・延べ利用者数 324名 (305名)
- ・運行台数 2台 (つばさ2号、ロッキー号)



(5) 車いす貸出事業

病気やケガ等で、歩行することが一時的に困難になった方などを対象に3ヶ月を限度に車いすを貸出し、生活の支援を図った。

- ・件数 128件 (89件)

(6) ファミリーサポート受託事業

1,848 千円 (1,621 千円)



(29年度受託事業終了)

援助会員宅に利用会員の子供を預かり、保育所の送迎、保護者の急用など目的に応じた子育て支援を図った。

ア 登録者数

- ・援助会員 126名 (128名)
- ・利用会員 343名 (382名)

イ 延べ利用回数

- ・1,113回 (1,028回)



ウ ふぁみさぼサロン

- ・1回 (1回)

エ 援助会員講習会

- ・2回 (2回)



オ 会報発行

- ・3回 (3回)

カ 援助会員おしゃべりサロン

・ 2回（1回）

キ 援助会員フォローアップ研修

・ 1回（2回）

ク つどい

・ 1回（1回）

ケ 交流会

・ 1回（1回）

1 4 居宅介護支援事業

居宅介護支援事業

15,769 千円（15,205 千円）



介護保険の要介護認定者等に対し、本人の選択に基づいた「居宅サービス計画」（ケアプラン）を作成し、利用者や家族へ支援を図った。

・ 延べ利用者数 1,394名（1,270名）



1 5 訪問介護事業

(1) 訪問介護事業

32,856 千円（32,660 千円）



介護保険の要介護認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・ 延べ利用者数 762名（785名）



(2) 予防訪問介護事業

介護保険の要支援認定者で、ホームヘルパーを必要とする方に対し、予防身体介護、生活援助、相談、助言など高齢者の支援を図った。

・ 延べ利用者数 367名（418名）

16 障害者介護支援事業

(1) 障害者介護支援事業

6,625 千円 (9,664 千円)



身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児童でホームヘルパーを必要とする方に対し、身体介護、家事援助、通院介助、相談、助言など自立の支援を図った。

・延べ利用者数 359名 (438名)

(2) 計画相談事業

障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を図った。

・利用者数 27名 (30名)

II 収益事業

決算額 (前年度決算額)

1 売店事業

売店事業

31,350 千円 (22,383 千円)



市役所内売店等を受託経営し、市役所職員の福利厚生や来庁者への利便を図るとともに、収益金を福祉事業に活用するため自主財源の確保を図った。

